

<奨学金給付型大学公式海外派遣プログラム>

令和5(2023)年度

海外留学支援制度(協定派遣)によるインドネシア・国立スラバヤ大学学生交流プログラム ～海外での日本語指導・日本語教育学習を通じた外国人児童生徒支援リーダー育成プログラム～ 募 集 要 項

1. 概要・目的

本学の所在地である愛知県は外国にルーツを持つ児童生徒の数がとりわけ多い地域として知られるが、昨今その数は急速に増加している。そうした状況においては、日本語指導ができる教員だけでなく、地域や学校において外国人児童生徒支援を引っ張る人材の育成が喫緊の課題である。外国人児童生徒支援で指導的な役割を担うには、深い日本語教育の知見と日本語指導に関する多様な経験が不可欠である。とりわけ後者に関しては、海外の日本語教育事情や教授スキルを学ぶこと、海外で外国語を用いて日本語を教える経験、多言語・多文化社会の体験、さらには自身が文化的・言語的なマイノリティとして実際に過ごす経験を持つことが非常に重要である。そうした言語・文化一般についての広い知見、経験を持つことで、外国人児童生徒に対する日本語指導のスキルだけでなく、彼らに対するエンパシー（共感力）も向上すると期待する。

そこで、本プログラムでは、本学の協定校であり、日本語学科を持つインドネシアの国立スラバヤ大学 (Universitas Negeri Surabaya, UNESA) での日本語を教える経験や学生同士の交流を通じて、自身が異文化に身を置き、日本語がマイノリティである社会に身を置くことで外国人児童生徒支援の在り方についてリフレクションを行う。最後には総括的な学生シンポジウムをインドネシアの学生と共同で企画開催し、自身の学びを深めるとともに、他に波及させる。

このようなプログラムを実施することで、外国人児童の最も多い地域の一つにある大学として、また、広域拠点型教員養成大学として、地域の教育の質向上を図る。

2. プログラム内容

(1) 期間

2024年2月27日(火) 日本発・2月28日(水) スラバヤ着

3月21日(木) スラバヤ出発、3月22日(金) 日本帰国

(25日間、スラバヤでの実質的活動は、23日間)(*変更となる可能性もあります)

※引率担当教員が一週間程度現地で引率をします。

(2) 内容

(1) 事前指導 (語学、インドネシアについて、東南アジアの文化、歴史、政治を学ぶ等)

(2) 事前準備 (パスポート取得、保険、危機管理、心構え、健康管理等)

(3) スラバヤで予定している活動、行事

- ・オリエンテーション、大学内見学、大学教職員と懇談
- ・日本語教育実習 (準備や相談、見学などをした後、実習)
- ・大学内外での授業・イベント参加 (前回実施時の例：インドネシア語講座、バリ舞踊体験、ガムラン演奏体験、ろうけつ染め (バティック) 体験、高校訪問など)
- ・学生との交流 (日本語を専攻する学生、学内サークル等)
- ・スラバヤ市内・郊外の観光、小旅行、田舎暮らし体験等

(4) 事後指導（現地での体験を通じて学んだことをどのように今後活かすかを考える等）

※スラバヤでの行事内容の詳細は、国立スラバヤ大学の先生方と相談しながら決めていきます。現時点では、細部（何月何日に何をするか、といった具体的なこと）まで示すことができません。

質問等がある場合は、引率担当の日本語教育講座の北野浩章教授（kitano@auecc.aichi-edu.ac.jp）まで メールで問い合わせてください。

(2)内容 ※詳細は今後調整予定

- ①事前指導（日本語指導の基礎、インドネシア及びタイの文化、歴史、政治を学ぶ等）
- ②事前準備（パスポート取得、保険、危機管理、心構え、健康管理等）
- ③交流（日本語授業の見学やサポート、教壇実習、日本語専攻の学生との交流等）
- ④歴史・文化視察・体験（スラバヤ及びチェンライの市内観光、近隣の観光地へのツアー等）
- ⑤事後指導（現地での体験を通じて学んだことをどのように今後活かすかを考える等）

3. 募集人数

最多5名

4. 募集対象者

本プログラムへの参加を希望し、以下の要件を満たす者とする。

(1) 日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者

（パスポートを所持しない場合は参加が確定してから取得してください）

(2) 本学に在籍する学部1～4年生、大学院1、2年生で心身ともに健康で海外滞在に支障がない者

(3) 学業成績が優秀で人物等に優れており、かつ、次に定める方法で求められる、前年度の成績評価係数が3.00満点で2.30以上であること（大学院1年生の場合は、出身大学の成績から算出）。

学部1年生の場合は別途対応しますので国際交流センターに相談すること。

※① [成績評価係数の算出方法] をもとに「成績評価ポイント」を換算し、小数点第3位を四捨五入して算出する。

② 成績評価係数が2.00以上2.30未満の場合は事前に国際交流センターに相談すること。

(4) 本プログラムの事前・事後指導、事前準備に必ず参加できる者

(5) 本プログラムに係る報告書等の作成に協力できる者

(6) 申込前に大学の教務企画課、キャリア支援課及び学内関連部署に正規授業、大学の体験活動、教育実習等の実施スケジュールを確認し、支障なく参加できる者

(7) 参加にあたり、ご家族の同意が得られた者

5. 費用

合計：約40万円

〔内訳〕

渡航費：スラバヤ往復の航空運賃は未定ですが、15～20万円ほどと予想しています。

滞在費：スラバヤ市内のホテルを利用する予定です。1泊約3,000～4,000円と予想しています。

また、数日間を、現地体験のため、日本語学科の先生宅でホームステイをするかもしれません。

その他：飲食費（日本よりずっと安いです）。国内交通費、実習にかかる経費、その他生活をしていく上でかかる経費等。

海外旅行保険料：約1万円

※上記の金額は令和5年11月時点のものです。

※旅行代金の支払い時の為替相場の状況により金額に変更が生じる可能性があります。予めご了承ください。

なお、日本学生支援機構から奨学金として、一人当たり7万円を支給します。ただし、最多5名まで、いずれも帰国後の支払いとなります。

6. 募集期間

2023年11月20日（月）～12月8日（金）

※実施説明会を、12月1日（金）の12時30分から教育交流館1階129グローバルcommonsⅡで開催しますので、興味のある人は参加してください。

7. 応募手続き

本プログラムへの参加を希望する者は、以下のサイトからお申込みください。

注：

- 1) 大学の auecc.aichi-edu.ac.jp アカウントのサインインが必要です。
- 2) 成績証明書、パスポートと語学資格の証明書等を事前にご用意ください。（用意できる方のみで結構です。）

<https://forms.office.com/r/45qWGq7qrJ>



8. 選考方法：

書類選考（必要に応じて面接を実施する場合があります）

9. 申込提出先・問合せ先

国際交流センター（教育交流館1階）

T E L：0566-26-2178、2179

E-mail：kokusaikoryu[at]m.auecc.aichi-edu.ac.jp

（※[at]記号を「@」に書き換えてメールを送信してください。）

【成績評価係数の算出方法】

*評価は「可」と「認」の場合は、「B」で算出してください。

成績評価	S	A	B	C	D
評価ポイント	3	3	2	1	0

（計算式）

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{前年度の総登録単位数}}$$

前年度の総登録単位数